

【令和7年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業】

「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」出前授業実施報告

日 時：2026年1月22日(木)23日(金) 8:30～12:00

会 場：香川大学教育学部附属坂出小学校

講 師：国立嘉義大学教授 黄 國鴻教授、香川大学教育学部 高木由美子教授

参加者数：児童70名、国立嘉義大学大学院生・学生 4 名、海外大学教員4名、香川大学教員5名、
附属学校教員5名

大学・地域共創プラットフォーム香川「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」第3回目の出前授業として、小学5年生2クラスを対象に「レゴ・ロボティクス・ワークショップ」を開催しました。

レゴワークショップの目標は、構築スキル、プログラミングおよび問題解決スキル、創造性と革新性を含む生徒の多面的な能力を育成することです。Scratch 言語を用いてロボットをプログラミングし、課題を遂行させる方法を児童に教えることで、児童の論理的思考と創造性を刺激することを目的としています。ワークショップに先立ち児童は職業を選択する意義や、実際の器具を対象にした理科実験の楽しさについて解説を聞き、どんなロボットを作りたいか考え、詳細なマニュアルを見ながら基本的なロボットから始めて、自由な発想で新規レゴ作品を作成して、自由自在に動かす方法を体験しました。

児童からは、「ロボットを操作することはこんなに楽しいのだなと感じた」「優しく教えてもらえてよかった」など、好印象の感想が数多くありました。教員からは「一般的な教科の学習では扱わないような教材・内容は、子供たちにとってとても魅力的に感じた。何より今回のような機会があることが有難い」との声がありました。大学教員との共同で実施する小学校での体験活動を増やしていくことで、児童の自由な発想力が伸長し、職業選択に関する興味関心が育まれることが期待されています。

